

緑のふるさと協力隊員

高瀬美智子の奮闘記⑤

み・す・し・る・べ



夜っぴとい神楽に徳山古典芸能保存会の一員として参加。笛を吹きましたよ。

高瀬美智子 群馬県みどり市出身・緑のふるさと協力隊員第17期生
緑のふるさと協力隊は、特定非営利活動法人地球緑化センターが推進する事業。農山村に興味を持つ若者を、地方自治体に一年間派遣。隊員として、農業や観光施設などで協力活動をする。美智子さんは、本町4代目の隊員。「おじいちゃん、おばあちゃんが大好きなんです」と朗らかに笑う22歳。

神楽つくしの1カ月でした

徳山神楽に参加し、1カ月ぶりに笛を吹きました。ちゃんと音が出たので一安心。しかし曲が前回とは違うため覚えるのに苦労しました。でも今回は、それより何より「肺活量」と「足のしびれ」との戦いが激しかったのです。

1曲が長いため途中で息が切れてしまい、曲を覚えるどころではなかったんです。ただ練習も終盤にさしかかると、ようやくそれにも慣れたのか、吹き続けられるようになりました。

曲の間はなるべく正座していましたが、足がしびれると笛どころではなくります。今回、舞もやらせてもらえたんですが、立ち上がる時思わず転んでしまったくらいです。頭では分かっている、体が上手く動かないことを実感してしまいました。

10月10日の本番では、来場者と

地区の人たちがみんな盛り上げていて感じがとても温かかったです。神楽には厳肅なイメージがありましたが、決してそんなことはなく、みんなの和気あいあいとした雰囲気心が地良かったなあ。

夜っぴといや上岸の祭りも

9月25日には、夜っぴとい神楽に参加。練習不足だったので、かなり心配しましたが、周りの人の指を見ながら何とか乗り切ることができました。たくさん神楽を見ることができ、貴重な体験になりました。一見どれも同じように見える舞や曲も、実はそれぞれに特色があり、違うものなんです。上岸のお祭り（10月11日）では、神楽と鳥居を見に行きました。地区の人に笛を手渡され、飛び入りで吹かせてもらいました。ありがとうございました。

家の畑には白菜が仲間入り。カブはなかなか成長しません。

